

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	川島町上下水道事業審議会	
開 催 日 時	令和5年12月14日（木） 午後2時00分から午後3時50分まで	
開 催 場 所	川島町役場 2階 大会議室	
議 事	議事第1号 川島町上水道事業経営戦略の改定について 議事第2号 川島町下水道事業経営戦略の改定について	
公開・非公開の別	公開 ・ 非公開 ・ 一部非公開	
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	(1号委員) 小高絵都子、大内伸正、鹿山日出男、鈴木紀子、 村瀬悟、矢田堀実香 (2号委員) 市村要一、永井儀男、安原正也
	事務局職員	川島町上下水道課 課長 石川 同 上水道グループ 主幹 中島、主任 丸山、主任 岡部 同 下水道グループ 主幹 牛村、主査 遠山 新日本設計(株)：藤原 亮 オリジナル設計(株)：酒井 周
配 布 資 料	次第、任命書、委員名簿、座席表、諮問書、議事第1号関連資料、議事第2号関連資料	
審議会等の内容・概要		
1 開会		
2 任命書交付		
3 あいさつ 町長代理副町長 石島 一久		
4 委員・事務局紹介		

5 役員選任 会長：安原委員、職務代理者：鹿山委員

6 諮問書交付

6 議事

議事第1号 事務局説明

- ・川島町水道事業経営戦略の改定について

【質疑応答】

- ・委員 給水原価と供給単価について分かりやすく説明をお願いします。
- ・事務局 給水原価は水をつくるのに掛かっている費用で、供給単価は販売単価です。スライド10ページの令和4年度を例にとると、水を1 m³造るのに掛かった費用は145円、町民の方にお売りしている価格は138.4円となります。県水は平成の始めころから入れ始めました。当時は県水の受水比率を100%にする指導が企業局からありましたが、100%県水というのも施設の運用上難しいこともあり、県水8割、井戸水2割で運用していた時代があります。平成28年度がその状況で、平成29年度に比べて給水原価が高くなっています。平成29年以降は東日本大震災などもあり、自己水のある程度確保しなければ万が一県水の供給が停止した場合に、皆さまに給水できなくなってしまうため、企業局と話し合いをさせていただき、県水6割、自己水4割で運用しています。県水比率を減少させたことで、給水原価が結果として下がりました。川島町の水道は、施設利用率や有収率が良いことから施設運用に無駄がない状態です。このため、施設の運用で経営改善することは難しく、電気料金の高騰等もあり、今回の経営戦略は、こうした状況を踏まえて見直すものです。
- ・委員 供給単価より給水原価が高いと説明がありましたが、平成29年度と平成30年度の収支が黒字となっています。この理由は何ですか。
- ・事務局 給水原価は営業収益を基に算定しますが、収入には営業外収益も含まれます。黒字となったのは、営業外収益が多かったためです。

- ・会長 地下水を増やせば給水原価は安くなるのですが、これ以上、地下水は増量できないという理解でよろしいでしょうか。
- ・事務局 吹塚浄水場には3箇所の井戸があり、平沼浄水場には2箇所の井戸があります。平沼浄水場の井戸は現在休止状態で、この井戸を使用できるようにするには、井戸を掘り直すような費用が必要になります。吹塚では3本の井戸で概ね日量4,000 m³程度取水しています。この水量は井戸の能力の限界に近い水量で、今後もこの程度の井戸水は確保する方針です。こうした状況ですので、地下水の増量は難しいものと考えています。
- ・委員 減価償却費は、何年償却で計算しているのですか。
- ・事務局 設備の種類によって異なり、管路であれば40年、機械・電気であれば8年や16年等を採用しています。
- ・委員 その時期が来たらリプレースをかけるということですね。わかりました。
- ・会長 今は井戸3本なんですが、今後、何十年も今の井戸が使えるのでしょうか。
- ・事務局 井戸は使用し続けると中に砂が溜まり、能力が低下します。現在、どの程度砂が溜まっているか、また、ストレーナの状況がどうか、カメラ調査を実施しており、年度末に報告書ができる予定です。その結果を踏まえ、今後、井戸のクリーニングや更新等を検討します。
- ・委員 アセットマネジメントによる管路更新需要を見るとφ150mm以下の管路については、まだ更新需要が発生していない状況になっているのですが、まだ、更新時期は来ていないということなのでしょうか。
- ・事務局 更新需要については、管路口径や竣工年度、使用状況に応じて更新年度を定めています。法定耐用年数を迎えたから更新ということではなく、各管路の状況を踏まえて更新年度を定め、事業費用を平準化するような形としています。

- ・委員 平準化はアセットマネジメントの観点からとても大切なことだと思うのですが、このグラフを見ると更新が後半に固まっているような感じがあります。この辺りを次回の投資・財政計画でご説明があると思っています。グラフでは今後更新需要が多くなってくるようなので、これに備えてどのように考えていくかが大切になってくるかと思います。
- ・会長 他にご意見がないようですので、議事第1号「川島町上水道事業経営戦略の改定について」は、今回のご意見を踏まえ、事務局に次回審議会までに原案の検討をお願いします。また、次回までに資料の追加があれば、出来る限り事前に各委員に配布をお願いします。

議事第2号 事務局説明

- ・川島町下水道事業経営戦略の改定について

【質疑応答】

- ・委員 川島町の下水道は分流式で、汚水は処理施設で処理しているとのことですが、雨水については河川に放流しているのですか？
- ・事務局 雨水については、雨水幹線を整備し、一級河川の安藤川を経て、入間川に放流しております。
- ・会長 水道で有収率の話が出ましたが、下水道では、不明水の割合はどのくらいでしょうか？
- ・事務局 令和4年度決算において、年間排水量1,563,567 m³、有収水量1,367,151 m³で、有収率は87.44%でした。不明水は約20万m³という状況です。
- ・会長 20万m³というのは、多い方でしょうか？管路が古くなっていることで、不明水が毎年多くなるのでしょうか？
- ・事務局 水道事業では有収率を重要視していますが、下水道事業では有収率について、国でも取りまとめや比較を行っておりません。そのため、川島町が全国的にどのような位置にあるのかの把握は、困難な状況です。しかし有収率は高くすべきものなの

で、調査と修繕により、不明水の浸入がないようにしたいと思
います。

・委員 スライド 12 ページの管渠内訳について、昭和 56 年度に長距
離の管渠布設工事をしています。これが老朽化したときに、計
画的な修繕の予定を立てていますか？

・事務局 令和 5 年度に、ストックマネジメント計画を策定しました。町
内の管路は鉄筋コンクリート管と V P 管の二種類に大別され
ますが、このうち破損の可能性が高い鉄筋コンクリート管の優
先度を上位に設定しました。現在、管路内をテレビカメラで撮
影し劣化状況を調査しています。この結果に基づき優先順位を
つけて、管更生工事として、管内部の補修を行う予定です。

・委員 水道と同じように、下水道も 24 時間 365 日止めることの
できない施設ですので、しっかりと修繕の対応をお願いします。

・委員 19 ページの財政的状況について、経常収支比率が 100% を超
えているのは、一般会計から基準外繰入金を入れているからで
しょうか？

・事務局 そのとおりです。

・委員 それを受け、質問ではなくお願いになります。30 ページで
も触れている「収支改善に向けた努力」について、公営企業は
独立採算制ですので、これを行うことは大切なことですが、経
常収支比率が 100% を超えていて、収支改善について理解を得
ることは大変ではないかと思います。理解が得られるように、
しっかりと説明するよう希望します。

・事務局 いただいた意見については、改定計画への反映について、事
務局にて検討します。


・会長 事務局は、本日の意見を踏まえて改定計画の策定を進めてく
ださい。

それでは、本日の議事はこれで終了とします。

5 その他

- ・事務局 次回の審議会について次回、開催日は2月2日（金）を予定
としています。改めて通知文を送付しますので、ご確認をお願い
します。

6 閉会

署 名	永井 儀男 
	小高 絵都子 